

日本独文学会
春季研究発表会

2025年5月24日（土）・5月25日（日）

第1日 午前10時より

第2日 午前10時より

会場 中央大学 多摩キャンパス

〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1

E-Mail: tagung2025chuo@jgg.jp

参加費

会員 1500 円

学生会員 1000 円

非会員（含む学生） 2000 円

*当日受付でお支払ください（現金のみ）

日本独文学会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-34-6 南大塚エースビル 603

Tel./Fax: 03-5950-1147

E-Mail（メールフォーム）：<http://www.jgg.jp/mailform/buero>

口頭発表：文学、文化・社会 I (14:30~16:25)

C会場 (5201 教室)

司会：伊藤 秀一・石田 雄一

1. 神話への憧憬と素材の承継——フリードリヒ・ド・ラ・モット・フケーによるアスラウグ素材の受容——
伊藤 貴康
2. G. ビューヒナー『ダントンの死』における法と身体についての生政治的な考察
森野 紗英
3. ブレヒトによる改作『家庭教師』：あるいは悲慘における自己去勢の利点
岡野 史

口頭発表：語学、ドイツ語教育 (14:30~17:05)

D会場 (5202 教室)

司会：Olga Czyzak・林 明子

1. Motivationsfaktoren beim Deutschlernen an japanischen Universitäten
Frank Nickel
2. Handlungs- und aufgabenorientiertes Lernen im DaF-Unterricht in Japan: Wahrnehmungen von A1-Studierenden
Nina Kanemats
3. Gendern im Deutschunterricht: Erste Ergebnisse einer repräsentativen Umfrage unter DaF-Lehrenden in Japan
Elvira Bachmaier / Ruben Kuklinski / Manuela Satō-Prinz
4. 名詞化不定詞の口語性——Notker 訳『詩篇』を基に——
黒田 享

ブース発表 (16:00~17:30)

(ブース発表は途中での出入り自由です)

E会場 (5203 教室)

ドイツ語教育・学習者の現状に関する調査 (2024 年実施) の結果報告

ドイツ語教育・学習者の現状に関する調査委員会
(池谷 尚美 / 太田 達也 / 梶浦 直子 / 草本 晶 / 佐藤 友紀子 / 柴田 育子 / 清野 智昭 / 寺田 雄介 / 能登 慶和 / 野村 幸宏 / エルヴィラ・バッハマイヤ / 柳田 ネンシ)

ポスター発表 (15:00~16:30)

(ポスターは期間中を通じて掲出されています)

F会場 (5204A 教室)

独文学者田中梅吉 (1883-1975) ——グリム童話・『朝鮮童話集』・旧蔵書

縄田 雄二 / 宇田川 恵

ドイツ語教育部会
「大学ドイツ語入試問題検討委員会」展示 (13:00~17:00)
DaF-Café (14:00~17:00)

(5204BC 教室)

懇 親 会 (18:00~20:00)

会場：1号館 1406号室
会費：常勤 7000円、非常勤・学生 3000円
*当日受付でお支払いください (現金のみ)

第 2 日 5 月 25 日 (日)

シンポジウム II (10:00~13:00)

A 会場 (8303 教室)

「はざま期」の言説に見る共和主義的パトリオティズム
——ナショナリズム、ポピュリズムとの近さと隔たり——

司会：須藤 秀平

コメンテーター：板橋 拓己／高田 博行

1. 普遍主義とナショナリズムの交錯——J・ゲレス『赤新聞』に見るライン
 ラントのパトリオティズム 須藤 秀平
2. 「行動する民」のパトリオティズム——F. L. ヤーン『ドイツ民族性』にお
 ける教育論 田口 武史
3. 「ドイツの少女」——ルイーゼ・オットーの愛国詩 菅 利恵

シンポジウム III (10:00~13:00)

B 会場 (8304 教室)

ドイツ語の学びをつなげるには——高校におけるドイツ語教育と語学力を活か
したキャリアへの展望

司会：草本 晶

1. 高等学校でのドイツ語学習と課題——高大接続の観点から——
能登 慶和
2. 教員免許を取り巻く問題 伊藤 直子

3. 「Schulen: Partner der Zukunft“ (PASCH)日本」の活動と今後の展望——高大連携および生涯教育を見据えた PASCH 活動の可能性—— 大津 亜矢子
4. 大学のドイツ語教育とキャリアメイキング 田野 武夫

口頭発表：文学、文化・社会 II (10:00~12:35)

C会場 (5201 教室)

司会：亀井 伸治・山崎 裕太

1. 意識の流れと「もの」の流れ——ヘッケルとデーブリーンの心身一元論的(非)対称性—— 相馬 尚之
2. クリスタ・ヴォルフ『カッサンドラ』における医療行為 中村 祐子
3. 未成の青春——クリストフ・フリードリヒ・ハインレの詩が問いかけるもの 柿木 伸之
4. ヨーゼフ・パレンベルクの実物大恐竜彫刻と英米独の自然史博物館 溝井 裕一

口頭発表：文学、文化・社会 III (10:00~12:35)

D会場 (5202 教室)

司会：Adam Jambor・羽根 礼華

1. Von Hoffmanns Sandmann zu Ishiguros Mindar: Techno-Spiritualität und digitale Identitätskultur in der Society 5.0. Manuel Kraus
2. Gestern, vor 80 Jahren: Bestandsaufnahme des 1995 geführten Briefwechsels zwischen Kenzaburō Ōe und Günter Grass Carlos Peter Reinelt
3. Archäologie der Liebe – Zu Botho Strauß‘ Fabeln von der Begegnung (2013) Bernhard Winkler
4. Komik und Kritik. Die literarische Programmatik von Jakob Arjouni Maciej Jędrzejewski

閉会の挨拶 (13:00~13:05)

A会場 (8303 教室)

中央大学 林 明子

研究発表会期間中、上記のプログラムに加えて、書店・出版社等による書籍展示が行われます。

会場のご案内

会場：中央大学 多摩キャンパス 5号館・6号館（受付）・8号館
〒192-0393 東京都八王子市東中野 742-1
最寄り駅：多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅直結

Informationen zum Tagungsort

Die Tagung findet auf dem Tama-Campus der Chuo Uuniversität statt.
Adresse: 742-1 Higashinakano, Hachioji-shi, Tokyo 192-0393

Der nächstgelegene Bahnhof:
Chuo-Daigaku Meisei-Daigaku (Tama-Monorail)